

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	5102	(H.24)No.	5102
-----------	------	-----------	------

事務事業名	文化財保護費		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	高津 祥完	

会計区分	事業コード	503501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	文化財保護費
項	社会教育費	(小事業名)
目	文化振興費	文化財保護費

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施 策	2	文化資源
	小 施 策	1	文化財の保護・調査研究
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
新たな文化財指定や、指定文化財の維持管理を行っています。指定文化財を良好な形で後世に伝えるとともに、地域のシンボルとして活用を図ります。
事業内容
市域に存在し、地域を理解するうえで特に重要な文化財の保護業務となります。文化財調査会の開催や、市指定文化財の修復補助、文化財指定看板の作成設置、史跡の草刈り等を行っています。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	文化財保護に係る文化財調査会経費や、指定文化財にかかる啓発看板修繕費、維持管理経費等	指定文化財の保護、ならびに維持管理にかかる経費
	報酬 42千円 旅 費 9千円 需用費 393千円 委託料 1,812千円 使用料 725千円 報償費 33千円 負担金 50千円	報 酬 154千円 旅 費 58千円 需用費 140千円 委託料 675千円 使用料 723千円 報償費 30千円 負担金 50千円

H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
指定文化財の保護、ならびに維持管理にかかる経費	指定文化財の保護、ならびに維持管理にかかる経費	指定文化財の保護、ならびに維持管理にかかる経費

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	3,064千円	1,830千円	2,830千円	2,830千円	2,830千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 3,064	1,830	2,830	2,830	2,830
人工数					
職員	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
臨時職員等	0.10人				
概算人件費	(0千円) 1,710千円	1,540千円	1,540千円	1,540千円	1,540千円
+ 総事業費	(0千円) 4,774千円	3,370千円	4,370千円	4,370千円	4,370千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
文化財の保護や、史跡の景観保全のため適切に管理ができました。しかし、限られた予算の中で、管理保全にかかる経費の確保が難しい状況になっています。	景観保全のための検討が必要であり、また、文化財の保護活用について、引き続き地域づくり組織との連携が必要です。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	指定文化財にかかる啓発看板修繕等を行い、貴重な歴史、文化等を後世に継承するための取組を進めました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(実践内容を記載)	文化財を地域資源として、それぞれの地域づくり組織と協働して、今後も活用を図ります。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
引き続き、地域と連携して事業を推進します。	総合計画